

公益社団法人日本雪氷学会

平成 30 年度、 第 1 回 関東・中部・西日本支部 理事会 議事録

場所： JAMSTEC 東京事務所

日時： 2018 年 5 月 17 日（木） 14 時 00 分—15 時 30 分

出席者 児玉、矢吹、安木、飯田、山岸、堀、鈴木、縫村

メール委任状：中澤、平松

理事会議題：

0. 議長選出 定足数（8 名）確認。支部長より矢吹へ指名があった。議事次第の確認を行った。

1. 2017 年度 事業および決算報告 （矢吹）

実施の事業（大雪災害の積雪調査法の開発、GIS 研修会、サイエンスアゴラ 2017、サイエンスカフェ、シモバシラ観察会、積雪断面観測会（2 月 10 日）、ホームページ・メーリングリストの運営、理事会・総会開催）に関して説明があった。いずれも順調に実施された。

2. 2018 年度 事業および予算 （矢吹）

以下の事業を推進する計画とする。必要予算は各事業から希望を募る。

- 市民参加型の積雪調査
- GIS 研修会
- サイエンスアゴラ 2018
- 断面観測講習会（北信越支部との共催）
- シモバシラ（析出氷）の観察会
- 理事会・総会開催
- メーリングリスト・HP の更新
- 表彰制度の継続

また、支部理事の改選選挙について、今年度末に実施予定である旨が報告された。

3. 2017 年度支部賞の報告 （飯田）

支部賞選考委員会での検討の結果、論文賞として荒木健太郎氏、活動賞として杉村剛氏が選出されたこと及び選定過程についての説明が行われた。

また、支部賞の規定として現在は受賞対象者を支部会員に限っているが、非会員も対象にしても良いのではとの提案、そして学生奨励賞・技術賞の新設の提案があった。飯田氏、支部長、支部幹事長ら関係者で継続審議を行うこととした。

4. その他

兒玉支部長より、支部会員による高校などへお派遣講師事業の新設に関しての提案がされ、今後検討していくことが確認された。